

第2次総合計画施策評価シート《令和3年度分》									
施策コード	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち						
3	2	2	生涯学習の充実						
SDGs 連携分野	目標3.	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する							
	目標4.	すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する							
	目標10.	各国内及び各国間の不平等を是正する							
									
目指すべきまちの姿	誰もが生涯にわたって主体的に学び続け、その成果がまちづくりに活かされるような、学習環境が整っています。								
●主要施策と概要【PLAN】			この1年間の成果及び反省点【DO】				担当課	評価【CHECK】	
(1) 生涯学習に関する指針の策定・推進 ・本市の生涯学習施策の総合的な指針となる生涯学習推進計画を策定し、生涯学習施策を体系的に推進します。			生涯学習集推進計画の策定に際し、市民ニーズを把握するため市民アンケート調査することができず、事業目標は未達でありましたが、策定に向けてアンケートの内容、精度についてさらに検討する必要があります。				生涯学習課	E	
(2) 生涯学習講座・教室の充実 ・自らの地域の歴史・文化を学ぶことのできる生涯学習講座を企画し、学習機会の充実を図ります。また、図書館では、読書会やおはなしの会を通して、親子、仲間と本とふれあう機会を増やします。			地域の歴史・文化を学ぶための生涯学習講座として、高齢者教室「大昭大学」や「文島の飼い方講座」等を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、定員に達しなかったものや中止とせざるを得ない講座もありました。今後も地域の歴史・文化を学ぶことのできる生涯学習講座を企画し、学習機会の充実を図ります。				生涯学習課	C	
(3) 関連施設の計画的な改修・設備修繕 ・安全で快適な学習環境を提供するため計画的な施設改修・修繕を図ります。			新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためおはなしの会を中止していますが、毎月1回の読書会については継続し本とふれあう機会の提供に努めました。				図書館	C	
(4) 指導者の育成・確保・活動の促進 ・生涯学習活動をサポートする指導者・ボランティアを育成・確保しながら、地域での活動を支援します。また、適切な助言・指導のできる専門員、生涯学習アドバイザーの設置を図ります。			老朽化した中央公民館ホール調光卓（舞台特殊照明の操作卓）の更新工事等を行い、施設利用者に対し安全かつ快適な設備を提供しました。十四山公民館の講堂屋根防水工事及び南部コミュニティセンター空調設備更新工事等を行い、適切な施設管理を行いました。所管各施設の建物・設備ともかなり老朽化が進んでおります。計画的な改修・修繕をするため、日々の故障を修繕するだけでなく、設備の耐用年数や適切な更新時期を把握しメンテナンスする必要があります。				生涯学習課	C	
			新型コロナウイルス感染症の影響により、事業目標は未達でしたが、文化協会、女性の会、生涯学習講座講師等と連携して各種研修の情報提供及び参加促進を行い、指導者の育成に努めます。				生涯学習課	E	
●施策目標に対する市民満足度						単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
生涯学習活動の充実						%	18.7	↗	
●成果指標		単位	現状値	各年度の実績値				目標値 (目指す方向性)	
			(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(2) 生涯学習講座・教室などへの参加者数		人	1,892	1,914	712	778		2,000	2,100
(2) 中央公民館利用者数		人	83,199	69,045	27,045	23,577		85,000	85,000
(2) 南部コミュニティセンター利用者数		人	27,527	36,527	17,843	12,570		29,000	29,000
(2) 白鳥コミュニティセンター利用者数		人	42,717	36,614	21,887	21,128		45,000	45,000
(2) 図書館利用者数		人	37,869	30,693	20,951	30,939		43,000	43,000
事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】						
(2-1)	生涯学習講座・教室開催事業	生涯学習課	コロナ禍のもと令和3年度で三年目となり、ウイズコロナ時代に入りましたが、市民の安全安心を最優先に考え、出来ることを出来る範囲で各種講座および教室の開催をしていきたいと考えます。				現状維持		
(2-2)	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	図書館	コロナ禍により事業を引き続き一部中止していますが、感染防止を図りつつ、可能な事業を実施することで市民に本や絵本とふれあう環境づくりに努めます。				現状維持		
施策の今後の方針【ACTION】	引き続き利用者が利用しやすい施設を目指し、施設環境を整備することで場所の充実を図り、市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施していきます。								

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-1)	生涯学習講座・教室開催事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	2	生涯学習の充実	
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実	
	主要事業		生涯学習講座・教室開催事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市民の生涯学習ニーズにこたえるため、子どもから高齢者までを対象としたさまざまな教室・講座を開催し、学習機会の充実を図ります。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	自らの地域の歴史・文化を学ぶことができる生涯学習講座を企画し、開催します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
生涯学習講座 講師謝礼		48	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計		48	合計	16	合計	16	合計	16
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(2) 生涯学習講座・教室などへの参加者数	人	1,892	1,914	712	778		2,000	2,100

指標の分析 各種講座及び教室などへの参加者数、各施設の利用者数の減少については、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や貸館の中止・利用制限があったことが理由と考えられます。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数はコロナ前と比較すると令和2年度と同様に大幅に減少しましたが、令和3年度に登録している利用団体は124団体(令和2年度:118団体)あり、感染症の影響がなくなれば現状値まで戻ることが見込まれるため、施設の維持管理を行う必要性があると判断します。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	前年を踏襲するのではなく、講座の申し込み状況に応じて講座の存続について見直しを行った結果、新規講座を開設することとなりました。講師謝礼が増加するに至りました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	生涯学習の活動の場として市民に提供する教育施設の為、公平・公正の観点から市が実施する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	生涯学習講座の開催及び生涯学習施設の維持は、総合計画の基本目標である「心豊かで文化を育む人づくりのまち」を実現するために必要な事業であり、教育基本法第3条にある教育の機会均等に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
コロナ禍のもと令和3年度で三年目となり、ウイズコロナ時代に入りましたが、市民の安全安心を最優先に考え、出来ることを出来る範囲で各種講座および教室の開催をしていきたいと考えます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-2)	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	図書館	図書グループ	令和4年7月19日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	2	生涯学習の充実	
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実	
	主要事業		生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	読書会やおはなしの会を通し活字離れを防ぎ、親子や仲間と触れ合う機会を増やすことにより、自己の充実や生活向上に寄与することで生涯学習の手助けすることを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	生涯学習ニーズにあわせた蔵書の充実や親子の触れ合い・仲間づくりの機会を増やす「おはなしの会」等を開催します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
図書購入費 (補助額)		4,397	図書購入費 (補助額)	4,400	図書購入費 (補助額)	4,400	図書購入費 (補助額)	4,400
逐次刊行物購入費 (補助額)		952	逐次刊行物購入費 (補助額)	1,034	逐次刊行物購入費 (補助額)	975	逐次刊行物購入費 (補助額)	975
資料情報借上料 (補助額)		579	資料情報借上料 (補助額)	585	資料情報借上料 (補助額)	585	資料情報借上料 (補助額)	585
視聴覚資料購入費 (補助額)		598	視聴覚資料購入費 (補助額)	600	視聴覚資料購入費 (補助額)	600	視聴覚資料購入費 (補助額)	600
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計		6,526	合計	6,619	合計	6,560	合計	6,560
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(2) 図書館利用者数	人	37,869	30,693	20,951	30,939		43,000	43,000

指標の分析 令和2年3月から約3か月間と令和3年1月中旬から約1か月間の2回のコロナウイルス感染防止対策による休館を行った影響から利用者数が減少していました。しかしながら、徐々に閲覧や学習のための利用者はコロナ禍以前に戻りつつあります。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	市民の多様なニーズに対応するため本や絵本とのふれあう機会づくりを行うことは生涯学習の充実という観点からも必要性が高いと考えてます。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	コロナ禍の中、読み聞かせ事業は中止をせざるを得ませんでしたが、毎月1回の読書会は可能な限り事業を継続して実施できるよう努めます。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	読み聞かせや読書会のボランティア団体が市民参画を伴い本や絵本とふれあう機会を提供することができるため、市と団体が協働して実施する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	読書会やおはなしの会を実施することは、総合計画における生涯学習講座・教室の充実を図るために必要な事業であり、親子や仲間と本とふれあう機会の促進に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
コロナ禍により事業を引き続き一部中止していますが、感染防止を図りつつ、可能な事業を実施することで市民に本や絵本とふれあう環境づくりに努めます。	現状維持